

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

戸田市民の男女共同参画に関する意識や実態を把握し、「第五次戸田市男女共同参画計画」の策定及び今後の男女共同参画行政を推進していくための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 男女のあり方をめぐるさまざまな問題について
- (3) DV（ドメスティック・バイオレンス）について
- (4) 結婚や家族、生活などのことについて
- (5) ワーク・ライフ・バランスについて
- (6) 女性の活躍の推進について
- (7) 地域活動などについて
- (8) 防災について
- (9) 「男女共同参画社会の実現」をめざすための施策について

3. 調査の方法

- (1) 調査地域 市内全域
- (2) 調査対象 市内在住の満15歳以上の男女（外国人を含む）
- (3) 標本数 3,000人（男女各1,500人）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配付・郵送回収法
- (6) 調査期間 平成29年9月1日～9月15日
- (7) 調査機関 株式会社エスピー研

4. 回収結果

- (1) 有効回収数 1,124票
- (2) 有効回収率 37.5%

5. この報告書の見方

- (1) 集計表の回答比率は小数第2位を四捨五入し、第1位までを表示している。従って合計が100.0%にならない場合がある。また、複数回答（選択肢からいくつでも選ぶ形式）の質問では回答比率が100.0%を超える場合がある。
- (2) 本文図表及び集計表のnは回答者数を表している。各設問ごとに回答者数（n）を基数として比率を算出している。
- (3) 本文図表においては、回答選択肢の表示は適宜語句を簡略化している場合がある。
- (4) 回答者数が10に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない。
- (5) 標本調査を行ったため、調査結果には統計上の誤差（標本誤差）が生じることがある。等間隔無作為抽出法を用いた場合の標本誤差（信頼度を95%とした場合）は以下の式により求められる。

$$(\text{標本誤差}) b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \quad \left[\begin{array}{l} N = \text{母集団 (戸田市全体)} \\ n = \text{比率算出の基数 (サンプル数)} \\ p = \text{回答比率} \end{array} \right]$$

Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ とみなすことができるので、調査結果の標本誤差の

範囲は、以下の標本誤差早見表のとおり求められる。

標本誤差早見表（信頼度：95%）

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,124	±1.79	±2.39	±2.73	±2.92	±2.98
700	±2.27	±3.02	±3.46	±3.70	±3.78
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,124で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.92%以内（57.08～62.92%）である」とみることができる。

6. 調査結果の概要

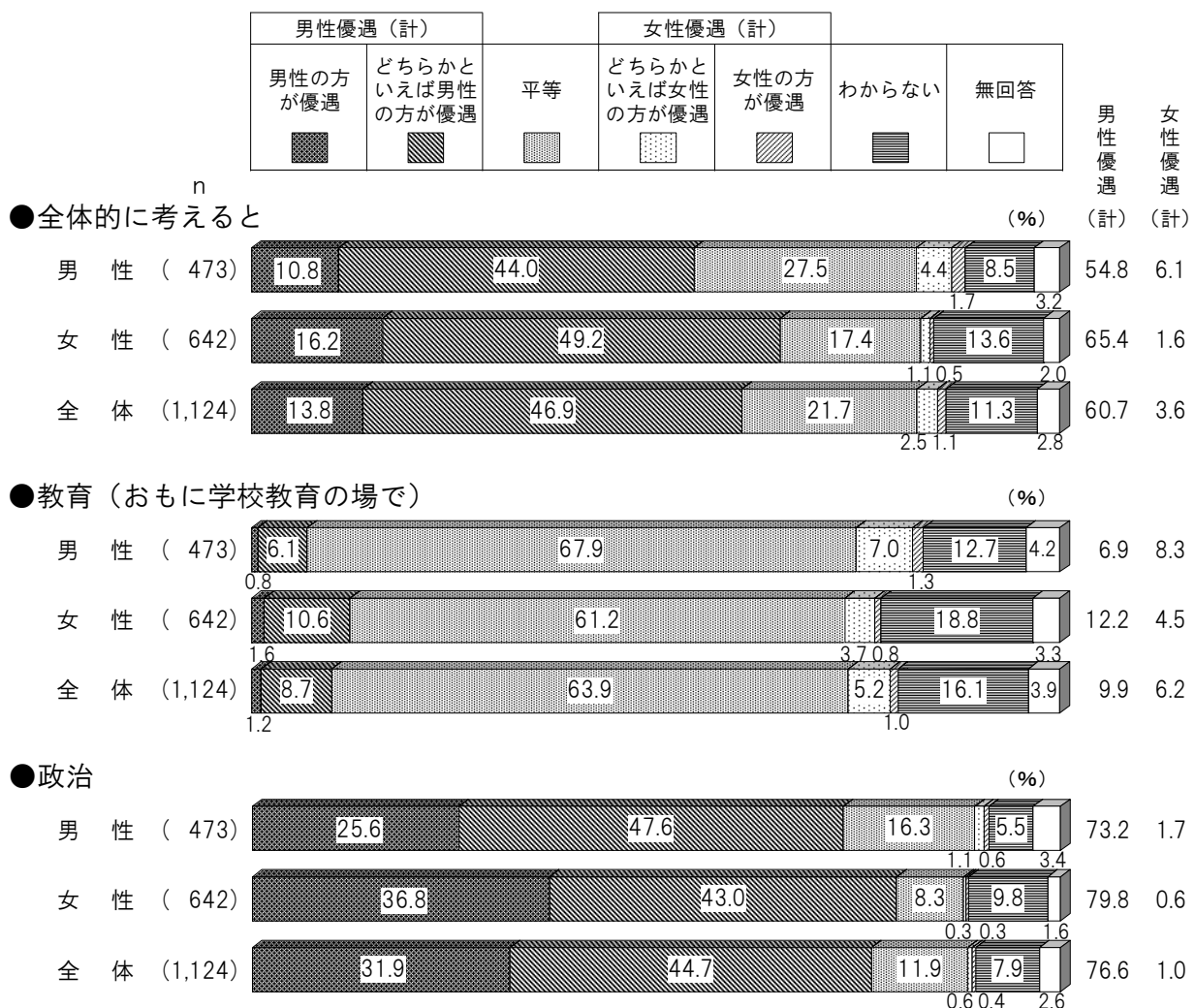
男女の地位に関する意識

問. あなたは、次に挙げる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

「全体的に考えると」では、「平等」が**21.7%**（男性27.5%、女性17.4%）でした。

最も平等感が高かった部門は「教育（おもに学校教育の場で）」で、「平等」が**63.9%**（男性67.9%、女性61.2%）、最も少なかった部門は「政治」で、「平等」が**11.9%**（男性16.3%、女性8.3%）でした。

それぞれの部門の平等感について、前回調査と比較すると、「全体的に考えると」では、0.4%増加（21.3%→21.7%）しました。「教育（おもに学校教育の場で）」では、1.6%増加（62.3%→63.9%）し、「政治」では、1.7%減少（13.6%→11.9%）しました。

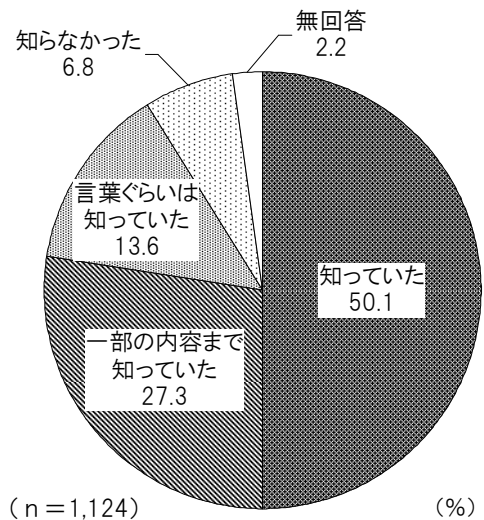


DV（ドメスティック・バイオレンス）の認知度

問. DVとは配偶者間（パートナー）や恋人など親しい間柄での暴力をいいます。身体的暴力のみならず、性的暴力や言葉による精神的暴力、生活費をわたさないなどの経済的暴力などもDVであることを知っていましたか。

「知っていた」が50.1%、

「一部の内容まで知っていた」が27.3%でした。

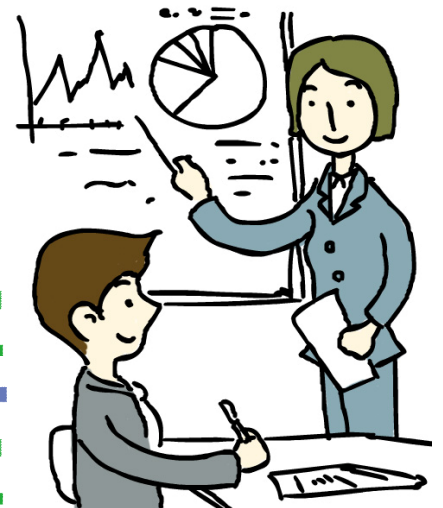
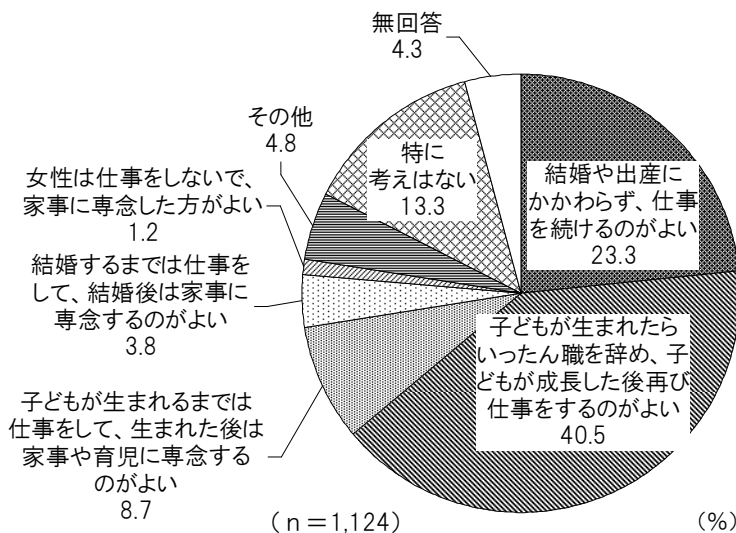


女性の働き方についての考え

問. 女性の働き方について、あなたの考えに近いものはどれですか。

「子どもが生まれたらいったん職を辞め、子どもが成長した後再び仕事をするのがよい」が40.5%、

「結婚や出産にかかわらず、仕事続けるのがよい」が23.3%でした。



女性が活躍するために必要なことは・・・

女性が働き続けたり、再就職したりするために特に必要だと思うものは何かについても質問しました。回答者の多い意見は次のようになりました。

1位 夫など家族が家事や育児を分担し、協力すること 54.7%

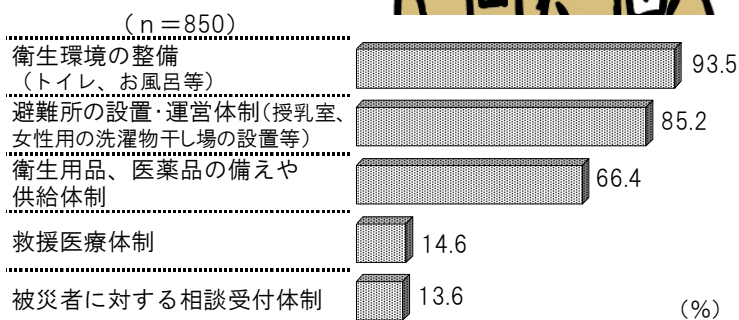
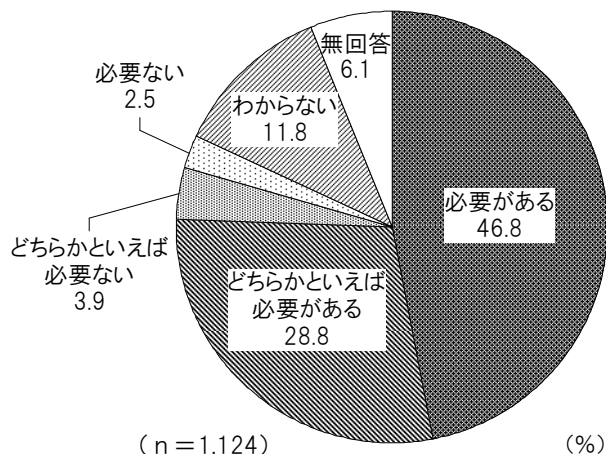
2位 上司や同僚に理解があり、出産後も働き続けられる雰囲気があること 35.3%

3位 公立及び私立の保育施設が充実したり保育時間が延長されたりすること 35.1%

性別に配慮した防災・災害復興対策の必要性

問. 防災・災害復興対策において、男女の性別に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。

「必要がある」、「どちらかといえば必要がある」人は合計で**75.6%**、
 配慮する必要があることからは、「衛生環境の整備（トイレ、お風呂等）」が**93.5%**でした。

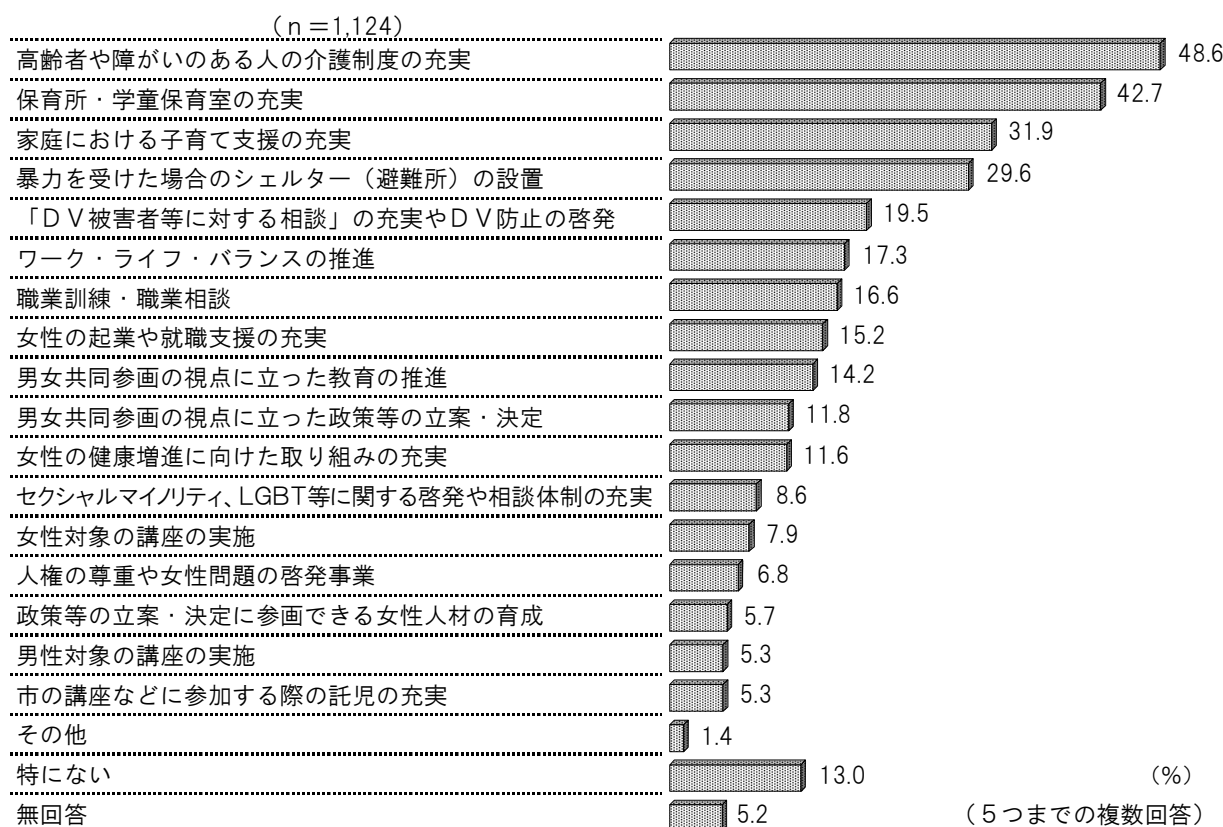


「必要がある」、「どちらかといえば必要がある」と答えた人に対し3つまでの複数回答

市に特に力を入れてほしい施策

問. 「男女共同参画社会の実現」に向けて、戸田市に特に力を入れてほしい施策は何ですか。

「高齢者や障がいのある人の介護制度の充実」が**48.6%**（前回調査50.3%）、
 「保育所・学童保育室の充実」が**42.7%**（前回調査44.5%）、
 「家庭における子育て支援の充実」が**31.9%**（前回調査30.8%）でした。



(5つまでの複数回答)